

第115期 株主通信

平成21年12月1日～平成22年11月30日

■株主メモ

事業年度	12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領 株主確定日	11月30日
中間配当金受領 株主確定日	5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.maru8.co.jp (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■HP紹介



 丸八倉庫株式会社

〒135-0047 東京都江東区富岡2-1-9 N.V富岡ビル4階

MARUHACHI WAREHOUSE COMPANY LTD.

 丸八倉庫株式会社

証券コード9313

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご協力を賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。

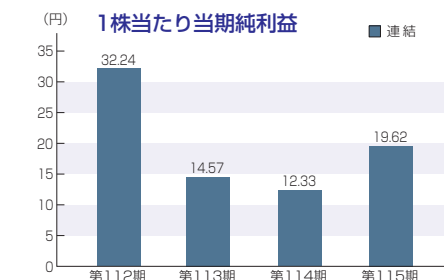
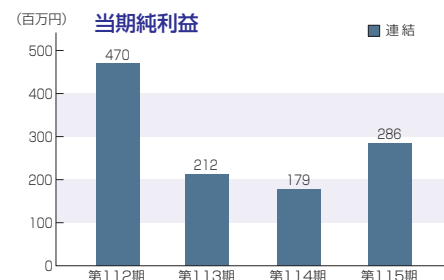
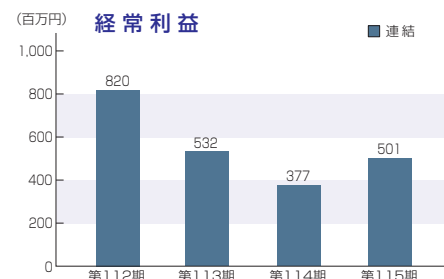
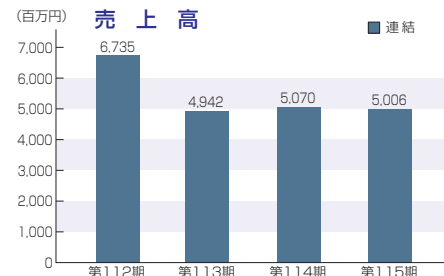
さて、当社は、平成22年11月30日をもちまして、第115期（平成21年12月1日から平成22年11月30日まで）が終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

なお、今後につきましても、業績の向上を目指して更に努力する所存でございますので、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年2月



取締役社長
中村 明



■当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、中国をはじめアジア新興諸国を中心とした海外経済の持ち直しを背景に改善の兆しがみられたものの、雇用情勢の低迷、デフレ状況の続くなか依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは新規顧客の確保ならびに物流不動産の開拓に注力するなど積極的な営業活動を展開するとともに、個人向け賃貸マンションの稼働率の維持に努めてまいりました。

この結果、売上高は5,006百万円、前年同期比63百万円の減収、営業利益は578百万円、前年同期比128百万円の増益、経常利益は501百万円、前年同期比124百万円の増益、当期純利益は286百万円、前年同期比106百万円の増益となりました。

■物流事業

物流事業部門では、新規顧客の獲得はあったものの倉庫稼働率が予想を下回るとともに、主力貸倉庫のテナント入替えにともなう売上減少等により売上高は4,603百万円、前年同期比82百万円の減収、営業利益は838百万円、前年同期比87百万円の減益となりました。

■不動産事業

不動産事業部門では、雑収入等の増加により売上高は403百万円、前年同期比18百万円の増収となりました。また営業利益につきましては、前年に子会社丸八クリエイト株式会社が、たな卸資産の評価損（197百万円）を計上しているため、前年同期比207百万円増の186百万円となりました。

■部門別売上高

連結

当社グループの事業部門別売上高

区分	当連結会計年度 【平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで】	
	金額	構成比
物流事業	4,603 百万円	92%
不動産事業	403	8
合計	5,006	100

■来年度の見通しと対処すべき課題

国内の経済動向につきましては、円高や雇用情勢、景気対策打ち切り等により厳しい状況が続くものと思われ

ます。このような状況の下、当社グループは物流不動産の新規開拓と倉庫稼働率の向上をめざし、顧客ニーズを的確に掴みきめ細かなサービスを提供していく所存でございます。

通期の見通しにつきましては、売上高4,772百万円、前年同期比234百万円の減収、営業利益581百万円、前年同期比2百万円の増益、経常利益510百万円、前年同期比8百万円の増益、当期純利益288百万円、前年同期比1百万円の増益を予想しております。

対処すべき課題として、以下の3点について注力していきたいと考えております。

- ① 既存の営業所の採算向上のため優良顧客の獲得が必要と考えております。とりわけ従来から課題となっております仙台・埼玉・板橋営業所の空スペースを早期に埋める必要があります。
- ② 物流不動産業務の拡大を図る。
- ③ 内部統制については、更なる体制の整備を行い定着化を図っていきたいと考えております。

連結財務諸表

■連結貸借対照表

科目	当期 (平成22年11月30日現在)
資産の部	
流動資産	516,169
現金及び預金	49,277
受取手形及び営業未収金	327,988
繰延税金資産	50,027
その他	88,876
固定資産	13,819,449
有形固定資産	12,376,628
建物及び構築物	5,347,287
機械装置及び運搬具	232,303
土地	6,572,536
建設仮勘定	1,645
その他	222,854
無形固定資産	29,009
借地権	995
その他	28,014
投資その他の資産	1,413,811
投資有価証券	694,476
従業員長期貸付金	11,638
長期貸付金	47,000
差入保証金	443,004
会員権	20,703
繰延税金資産	176,397
その他	25,191
貸倒引当金	△ 4,600
資産合計	14,335,619

■連結株主資本等変動計算書

当期 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等 その他有価証券評価差額金	少数株主持分	純資産合計
平成21年11月30日残高	2,527,600	2,046,936	2,166,133	△ 2,640	6,738,029	17,570	27,449	6,783,049
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 102,114		△ 102,114			△ 102,114
当期純利益			286,182		286,182			286,182
自己株式の取得				△ 205	△ 205			△ 205
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 18,542	2,064	△ 16,477
連結会計年度中の変動額合計	-	-	184,067	△ 205	183,862	△ 18,542	2,064	167,384
平成22年11月30日残高	2,527,600	2,046,936	2,350,201	△ 2,845	6,921,891	△ 972	29,514	6,950,433

(単位：千円)

科目	当期 (平成22年11月30日現在)
負債の部	
流動負債	3,342,560
営業未払金	112,508
短期借入金	2,803,583
未払金	45,816
未払費用	115,572
未払法人税等	48,680
未払消費税等	16,778
未払前受金	189,160
その他	10,460
固定負債	4,042,624
長期借入金	2,871,533
預り保証金	740,405
退職給付引当金	214,832
役員退職慰労引当金	214,549
その他	1,305
負債合計	7,385,185
純資産の部	
株主資本	6,921,891
資本金	2,527,600
資本剰余金	2,046,936
利益剰余金	2,350,201
自己株式	△ 2,845
評価・換算差額等	△ 972
その他有価証券評価差額金	△ 972
少数株主持分	29,514
純資産合計	6,950,433
負債及び純資産合計	14,335,619

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■連結損益計算書

科目	当期 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)
売上高	5,006,992
売上原価	3,815,051
売上総利益	1,191,940
販売費及び一般管理費	613,249
営業利益	578,691
営業外収益	14,612
受取利息	1,219
受取配当金	10,591
補助金収入	1,000
その他	1,802
営業外費用	91,743
支払利息	91,743
経常利益	501,560
特別利益	3,903
固定資産売却益	3,903
特別損失	17,616
固定資産除却損	1,836
固定資産売却損	450
投資有価証券評価損	8,329
会員権評価損	4,000
貸倒損	3,000
税金等調整前当期純利益	487,847
法人税、住民税及び事業税	202,218
法人税等調整額	△ 2,617
少数株主利益	2,064
当期純利益	286,182

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	529,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 553,177
現金および現金同等物の増減額	△ 11,676
現金および現金同等物の期首残高	60,954
現金および現金同等物の期末残高	49,277

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

科目	当期 (平成22年11月30日現在)
資産の部	
流動資産	301,105
固定資産	13,204,231
有形固定資産	9,482,798
無形固定資産	27,383
投資その他の資産	3,694,050
資産合計	13,505,337
負債の部	
流動負債	3,244,994
固定負債	3,952,604
負債合計	7,197,599
純資産の部	
株主資本	6,308,003
資本金	2,527,600
資本剰余金	2,046,936
利益剰余金	1,736,312
自己株式	△ 2,845
評価・換算差額等	△ 265
その他有価証券評価差額金	△ 265
純資産合計	6,307,737
負債及び純資産合計	13,505,337

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	当期 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)
売上高	3,967,500
売上原価	2,952,496
売上総利益	1,015,004
販売費及び一般管理費	545,638
営業利益	469,365
営業外収益	46,320
受取利息	34,809
受取配当金	10,591
その他	919
営業外費用	90,650
支払利息	90,650
経常利益	425,036
特別利益	104
固定資産売却益	104
特別損失	17,166
固定資産除却損	1,836
投資有価証券評価損	8,329
会員権評価損	4,000
貸倒損失	3,000
税引前当期純利益	407,974
法人税、住民税及び事業税	183,189
法人税等調整額	△ 17,649
当期純利益	242,434

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況

商号	丸八倉庫株式会社
英文	Maruhachi Warehouse Company, Limited
設立	昭和9年3月
資本金	25億2,760万円
従業員数	44名

代表取締役会長	渡邊 洋三
代表取締役社長	中村 明
常務取締役	峯島 一郎 営業本部長
常務取締役	佐々木 光昭 管理本部長
取締役	峯島 茂兵衛
取締役	鮫島 正三郎 営業部長
取締役	鈴木 一彦 不動産部長
取締役	荒井 豊 総合企画部長
常勤監査役	立川 彰
監査役	富安 一彦
監査役	井置 延明

①当社の主要な事業所		
清澄営業所	東京都江東区	埼玉営業所 埼玉県所沢市
高橋営業所	//	草加営業所 埼玉県草加市
若洲営業所	//	八街営業所 千葉県八街市
葛西営業所	東京都江戸川区	宇都宮営業所 栃木県河内郡
板橋営業所	東京都板橋区	仙台営業所 宮城県仙台市
②子会社の事業所		
東北丸八運輸株式会社	宮城県仙台市若林区卸町東四丁目1番11号	
丸八クリエイト株式会社	東京都江東区富岡二丁目1番9号	

株式の概況

発行済株式の総数	14,600,000株	
株主数	2,103名	
■大株主		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
尾張屋土地株式会社	3,278	22.47
山崎商事株式会社	800	5.48
東京海上日動火災保険株式会社	654	4.48
三菱UFJ信託銀行株式会社	460	3.15
養命酒製造株式会社	400	2.74
峯島 一郎	349	2.39
株式会社三菱東京UFJ銀行	308	2.11
榊原 学	305	2.09
有限会社八峯	264	1.80
株式会社日清製粉グループ本社	201	1.38